

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	24 市有財産の有効活用					重要度	A		
番号・取組事業名	24001	未利用地の売却及び有償貸付の推進			作成日	H31.4.1		更新日	R2.3.31
担当部署	030300	総務部 資産管理課			責任者	加藤 雅美		担当者	公共施設マネジメント担当
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳入増加								
最終目標	市有地の中で、当初の利用目的等が無くなり、将来的にも活用予定の無い未利用地については積極的に売却を進め、売却に適さない物件について有償貸付等を推進する。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を行った。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討した。							
平成29年度	計画どおり	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を行った。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討した。							
平成30年度	計画どおり	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を行った。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討した。							
令和元年度	実施	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を進める。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討する。							
令和2年度	完了	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を進める。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討する。							
成果指標	指標名	未利用地の売却額					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		31,549	42,298	55,073	39,407	—		
	変更計画値	49,500						0	
歳入増加	実績値		113,390	35,000	95,134	1,686		0	
	当初計画額		△ 17,951	△ 7,202	5,573	△ 10,093		△ 29,673	
	変更計画額	49,500						0	
歳出削減	実績額		63,890	△ 14,500	45,634	△ 47,814		47,210	
	当初計画額							0	
	変更計画額							0	
計	実績額							0	
	当初計画額		△ 17,951	△ 7,202	5,573	△ 10,093	0	△ 29,673	
	変更計画額	49,500	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	実績額		63,890	△ 14,500	45,634	△ 47,814	0	47,210	
	当初計画額								
	変更計画額								

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	A	
番号・取組事業名	24001	未利用地の売却及び有償貸付の推進	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	加藤 雅美	担当者	公共施設マネジメント担当	
	区分	取組内容・目標					
令和元年度	実施	全庁的な未利用地調査を実施し、未利用地となっている市有地について積極的に売却を進める。売却に問題のある物件については、問題点の解決を図り、売却及び有償貸付等を検討する。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	未利用地調査			○			
2	未利用地の転活用調査				○		
3	未利用地の売却候補地の選定				○		
4	早期に売却できない未利用地の売却, 貸付, 継続保有の区分けの検討				○		
5	売却の実施					○	○
6	早期に売却できない未利用地売却の解決策の検討					○	○
7	売却に適さないもの等の貸付の検討					○	○
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に実施した一般競争入札において応札のなかった物件について、先着順による継続募集を実施。 継続募集に引き続き、官公庁オークションを活用した入札を実施。 令和元年8月に公有財産(土地)管理運用検討会を開催し、今年度の売却物件を選定。12月から一般競争入札方式で売却募集を実施予定。(新規物件:3件) 			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	未利用地の売却額	計画値	単位 千円 39,407	実績値	単位 千円 1,686	
	達成状況【成果】	未達成	コメント	継続募集に引き続き、官公庁オークションによる入札を実施するも売却には至らなかった。 また、一般競争入札方式で3物件の売却募集を行ったが、応札がなく、当初計画値を達成することができなかった。 次年度も引き続き、売却可能な物件を積極的に売却し、売却できない物件は有償貸付等の有効活用を検討するなど、歳入増加に努めたい。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	未利用地の売却については、継続的な取組であり、単年度だけで評価できるものではないが、引き続き、積極的な売却に努められたい。また、売却だけに拘ることなく、地域ニーズを踏まえた有償貸付けなど、様々な方法を駆使して有効活用を図られたい。			
	方向性	取組み強化					

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	24 市有財産の有効活用					重要度	B		
番号・取組事業名	24003	太陽光発電設備設置運営事業			作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31	
担当部署	080500	環境部 環境政策課			責任者	鈴木 茂美	担当者	環境政策担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減								
最終目標	市が所有する公共施設の屋根や土地に太陽光発電設備を設置することで、①未利用地の有効活用、②再生可能エネルギー普及促進の啓発、③新たな財源の確保を図る。 実施可能な施設や土地が発生した場合、適宜実施する。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	手賀近隣センターに太陽光発電設備を設置した。							
平成29年度	計画どおり	(仮称)柏の葉新設中学校に太陽光発電設備を設置した。							
平成30年度	その他	実施可能な施設を所管する部署と協議を行った。							
令和元年度	実施	実施可能な施設を所管する部署と協議を図り、太陽光発電設備設置を検討する。							
令和2年度	完了	実施可能な施設を所管する部署と協議を図り、太陽光発電設備設置を検討する。							
成果指標	指標名	太陽光発電設備設置施設数					単位	箇所	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	2	1	1	0	0	-	2	
	変更計画値							0	
実績値	1		1	0	0		2		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額	4,188	179	357	2,144	2,144	2,144	6,968
		変更計画額							0
		実績額		175	402	546	2,011		3,134
	計	当初計画額	4,188	179	357	2,144	2,144	2,144	6,968
		変更計画額		0	0	0	0	0	0
		実績額		175	402	546	2,011	0	3,134
見込まれる その他効果 (金額以外)									

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	B		
番号・取組事業名	24003	太陽光発電設備設置運営事業	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	鈴木 茂美	担当者	環境政策担当		
	区分	取組内容・目標						
令和元年度	実施	実施可能な施設を所管する部署と協議を図り、太陽光発電設備設置を検討する。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	実施可能施設検討			○	○	○	○	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	学校施設整備庁内担当者会議に出席して、新設や建替え等の計画を確認し、設置可能な施設や設備等について要望を行った。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	太陽光発電設備設置施設数	計画値	単位	箇所	実績値	単位	箇所
				0		0		
	達成状況【成果】	達成	コメント	太陽光発電設備の設置予定及び実績がなかったが、柏市公共施設等低炭素化指針に基づき次年度以降に改修等を予定している施設の管理部署と設置についての協議を行った。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	國井 潔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	令和元年度での新築・改修案件がなかったため左記の評価とした。当該設備の設置については設計構想段階での導入検討が肝要である。また、設置にかかるイニシャルコストが課題となることもあるため、助成金等の情報収集に努め、費用対効果の提案や財政部門への申し添えを行うなど、施設担当課を支援していくこと。引続き、各施設の管理計画と密に連携して機会を捉え、太陽光発電設備の設置普及に尽力されたい。				
	方向性	取組み強化						

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	B			
番号・取組事業名	24005	ネーミングライツの導入(柏市塚崎運動場野球場)		作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課		責任者	橋爪 良洋	担当者	推進担当		
取組年度	H30	～	R1						
効果	歳出削減								
最終目標	市が所有するスポーツ施設を有効に活用することにより、新たな財源の確保と施設サービスの維持・向上を図るため、市有スポーツ施設へネーミングライツを導入し、歳出の削減や地域活性化につなげる。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度	計画どおり	ネーミングライツの導入に向けて、関係部署と調整を行った。次年度から、提案者の随時募集を開始。							
令和元年度	完了	ネーミングライツ・スポンサーの募集、事業者の決定、ネーミングライツ協定の締結							
令和2年度									
成果指標	指標名	ネーミングライツ導入効果額(相当額)					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値				0	500	500	1,000	
	変更計画値							0	
歳入増加	当初計画額							0	
	変更計画額							0	
	実績額							0	
歳出削減	当初計画額				0	500	500	1,000	
	変更計画額							0	
	実績額				0	4,550		4,550	
効果額	計	当初計画額	0	0	0	500	500	1,000	
	変更計画額	0	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	4,550	0	4,550	
見込まれる その他効果 (金額以外)						施設利便性向上による利用者の増加			

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	24 市有財産の有効活用				重要度	B		
番号・取組事業名	24005	ネーミングライツの導入(柏市塚崎運動場野球場)	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31		
担当部署	160600	地域づくり推進部 スポーツ課	責任者	橋爪 良洋	担当者	推進担当		
	区分	取組内容・目標						
令和元年度	完了	ネーミングライツ・スポンサーの募集, 事業者の決定, ネーミングライツ協定の締結						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	提案募集(随時)			○	○	○	○	
2	審査委員会の開催				○			
3	スポンサーの決定				○			
4	協定の締結(愛称の使用開始)				○			
5	役務の提供				○	○	○	
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	進んでいる	コメント	4月からネーミングライツの募集を行い, A社より応募があった。応募に伴い, 担当課で内容を精査した上で審査委員会を7月上旬に開催し, ネーミングライツスポンサーが内定。9月に協定を締結。締結に伴い, 提案された内容を実施するための協議を指定管理者を含め3者で行い, 施設利用に支障のない時期(令和2年1月から2月にかけて)に提案内容(塗装・寄贈)を実施・提供してもらうこととなった。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	ネーミングライツ導入効果額(相当額)	計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
				500			4,550	
	達成状況【成果】	達成	コメント	提案された内容の実施については, 事前協議のとおり, 施設利用に支障のない時期の令和2年1月から2月にかけて提案内容(塗装・寄贈)を実施・提供してもらった。				
	進捗状況【活動】	完了(事業終了)						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無						
	計画値	無						
評価	評価者	小貫 省三	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	指定管理者を含めた3者で事前協議を綿密に行い, 提案内容の実現に向けて協議を進めることができた。 引き続き, スポンサーとの連携を強化させ, 施設の維持管理に努めていくこと。				
	方向性	完了(目的達成)						